

第8章 景気変動への イントロダクション

マクロ経済学



教員：奴田原 健悟

<http://www.kengonutahara.com/teaching>

第8章のアウトライン

第8章の授業でやること

- ① 長期 vs. 短期
- ② 総需要・総供給モデル

教科書との関係

- ▶ 「マンキューマクロ経済学I (入門篇)」(東洋経済新報社) の第8章 8-2 ~ 8-4 pp.316 まで

1. マクロ経済学の 時間軸

長期 vs. 短期 (1/3)

長期 : 古典派マクロ経済学 (前期での学習内容)

- ▶ 価格が _____ : 需要と供給が _____
_____ するように価格が変化
- ▶ 資本と労働の供給量は一定、技術も一定

短期 : ケインズ経済学

- ▶ 多くの価格は _____
- ▶ 資本と労働の供給量は一定、技術も一定

長期 vs. 短期 (3/3)

価格が硬直的な短期：生産や雇用は
サイドの影響も受ける

- ▶ 財政政策 / 金融政策 / 消費 C や投資 I の外生的変化

ジョン・メイナード・ケインズ (1883-1946) の
有名な言葉 (『貨幣論』)：



“Long run is a misleading guide to current affairs.
In the long run, we are all _____.”

2. 総需要・総供給 モデル

総需要・総供給モデル

総需要・総供給モデル：

- ▶ とGDPとの関係を、ミクロ経済学の需
要・供給モデルに模したもの（AD-ASモデルともいう）

長期と短期で金融政策の効果にどのような違いが
できるかを分析

総需要 (1/3)

総需要曲線 (Aggregate Demand curve) : 物価水準と経済の総需要の関係を表す
(AD 曲線ともいう)

もっとも簡単な AD 曲線 : 貨幣数量説

M : 貨幣、 V : 貨幣の流通速度、 P : 物価、 Y : 実質 GDP (総需要)

⇒ 総需要 Y と物価 P は _____ の関係

- ▶ 貨幣量と流通速度 (貨幣の使用回数) が一定なら物価の上昇は総需要を減少させる

総需要 (2/3)

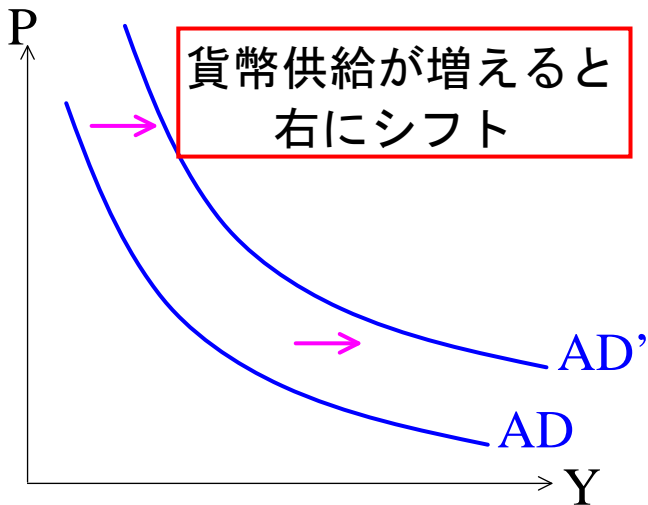
金融緩和（マネーサプライの増加）の効果：

$$\text{総需要曲線：} \quad M \times \bar{V} = P \times Y$$

⇒（物価 P 一定の下では）総需要 Y が

- _____
- ▶ 総需要曲線が _____ にシフト

総需要 (3/3)



長期の総供給 (1/2)

長期の総供給曲線 (Long-Run Aggregate Supply curve) : 物価水準と経済の総供給の長期の関係を表す (LRAS 曲線とも書く)

長期では、生産は供給サイドで決まる

$$\bar{Y} = F(\bar{K}, \bar{L})$$

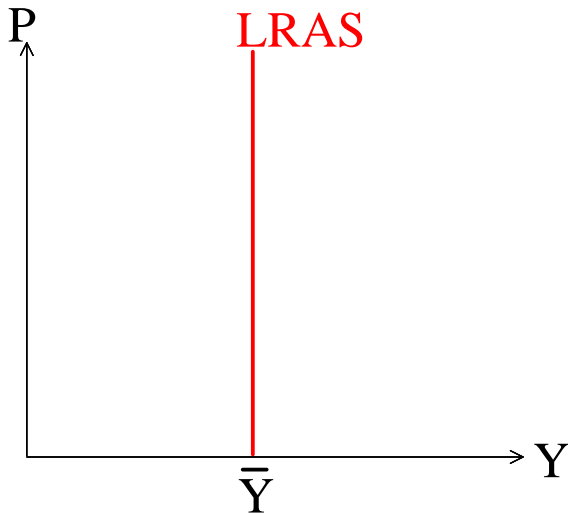
但し、 \bar{K} : 資本供給量、 \bar{L} : 労働供給量、 $F(\cdot, \cdot)$: 生産関数

⇒ \bar{Y} は物価水準と関係がない

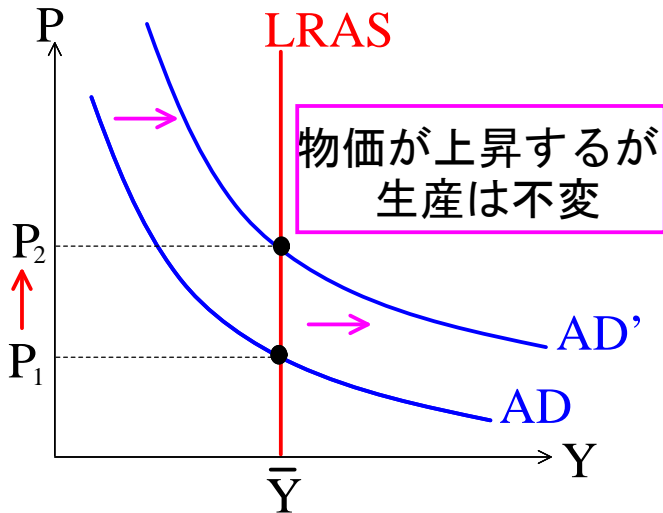
LRAS 曲線は、



長期の総供給 (2/2)



金融緩和 ($M\uparrow$) の長期効果



短期の総供給 (1/2)

短期の総供給曲線 (Short-Run Aggregate Supply curve) : 物価水準と経済の総供給の短期の関係を表す (SRAS 曲線とも書く)

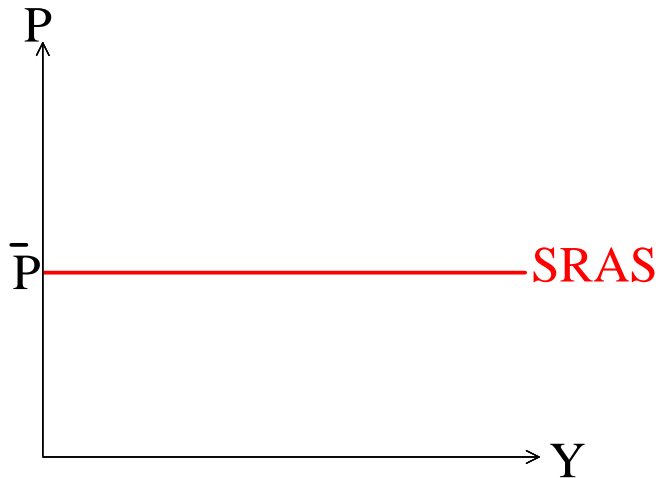
価格硬直性の仮定 : 価格は一定に固定

企業は、与えられた価格水準で、顧客が望むだけ販売しようとする

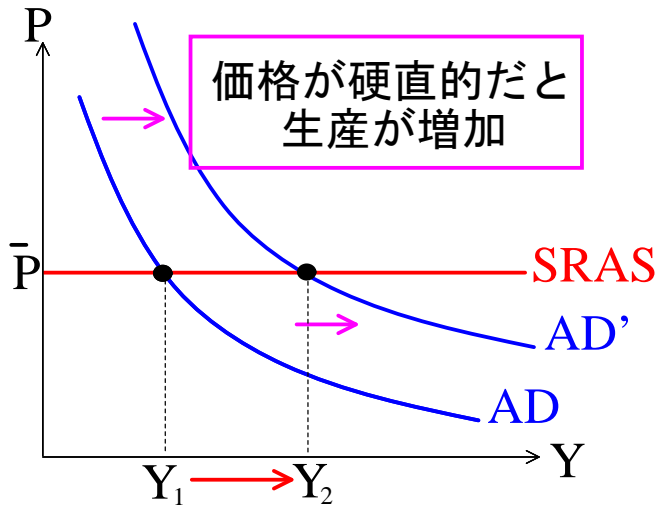
SRAS 曲線は、



短期の総供給 (2/2)



金融緩和 ($M\uparrow$) の短期効果



失業に関するインプリケーション

長期のモデル：

- ▶ 失業は、 _____
⇐ 賃金が伸縮的だから、労働の需給が一致

短期のモデル：

- ▶ 金融緩和で、生産が増加
⇒ 生産に使用している労働も増加
⇒ 失業は _____

より一般的な短期の総供給曲線 (1/2)

ここでの短期の総供給曲線は _____

⇐ すべての財の価格が一定 (極端な仮定)

より緩やかな価格硬直性の仮定 : 価格伸縮的な企業と価格硬直的な企業が混在

⇒ このとき、SRAS 曲線は _____

(詳しくは教科書 12 章参照)

- ▶ 金融緩和で物価と生産の両方が増加
- ▶ 失業は減少

より一般的な短期の総供給曲線 (2/2)

